

井上靖と狩野川台風

関東大震災と神奈川

「大庭れいじ」の世界

関東大震災をこえて～久米正雄～

3.11

あれから5年、そしてこれから……—3.11と詩歌

樋口一葉の手紙 山梨の知人への水害見舞

文学に見る震災資料展

浅間山と御嶽山の噴火と文学

東日本大震災以後に生まれた文学

『美しい星』と人類救済の試み

天災地変と文学

文学に描かれた福井震災～復興へ向けて～

詞（ことば）のちから

司馬遼太郎と阪神淡路大震災

戦前版教育紙芝居『稲むらの火』
—村人を津波から救った庄屋さん—

田辺聖子が伝える「危険についての想像力」

与謝野晶子と大震災

資料からたどる吉村文学と災害
—『三陸海岸大津波』と『関東大震災』—

森鷗外に見る地震・洪水

森鷗外と明治・大正の災害

時実新子と阪神・淡路大震災

林芙美子と災害

震災の中の作家たちII

文学者が語る関東大震災

震災を書く

寺田寅彦と地震 4

河野通勢が報じた関東大震災 Part2

北九州と3.11

我国は有史以来、毎年各地を襲つた天災地変による災害を体験してきました。二〇一四年九月二十七日御嶽山（長野・岐阜県）が水蒸気爆発をし、五十九名の方が死亡し、四名の方が行方不明になっています。火山噴火による戦後最悪の被害となりました。二〇一五年五月二十九日口之永部島の新岳が火を噴き、住民は島を離れることを余儀なくされています。九月一日桜島、九月十四日阿蘇中岳が噴火をし、入山規制となっています。また、九月十日関東・東北を襲つた豪雨で鬼怒川の堤防が決壊し、濁流は住宅街へ流れ込み多大な被害をもたらしました。日本列島は相変わらず災害列島と言わざるを得ません。

この全国文学館協議会の共同展示は、二〇一一年三月十一日の東日本大震災を契機に開催されました。死者に対する鎮魂と被災者への慰謝を願う心から、当時の会長中村稔氏の提案に賛同した文学館が二〇一三年三月、一斉に展示を始めました。

東日本大震災は、地震・津浪という自然災害に加えて、原子力発電施設のメルトダウンによる放射能汚染が深刻な影響を多方面に与えています。放射能の除染の効果も上がらず、汚染水の処理も未だにコントロールできません。

県外に今なお五万余の人が避難しており、「帰還困難区域」や「居住制限区域」が残っているため、ふるさとに帰還できずにいます。仮設住宅に今も六万八千人が暮らしています。過酷な体験は、記憶から消し去ろうとします。そうでもなくとも記憶は時間に洗われ変容し、忘却されていきます。

多くの表現者が大震災を直視し、多彩な表現を紡ぎ出してきました。それらの表現を収集し、展示し、保存していくことも文学館の責務であると考えます。

ここに全国文学館協議会の各館は、この未曾有の大災害を直視し、記憶に止め、死者たちへの鎮魂と哀悼、被災者への慰謝とコミュニティの復興を願って、共同展示を開催いたします。

二〇一六年一月

この全国文学館協議会共同展示とは、2011年3月11日の東日本大震災を契機に開催されました。

死者に対する鎮魂と被災者への慰謝を願う心から、

当時の会長中村稔氏（詩人・弁護士）の提案に賛同した文学館が2013年3月に一斉に展示を始めました。

第4回目を迎える本年は全国28の文学館で開催いたします。

	館名	企画名	開催期間	所在	電話番号
北海道	井上靖記念館	井上靖と狩野川台風	3月1日(火)～3月31日(木)	旭川市春光5条7丁目	0166-51-1188
青森	青森県近代文学館	パネル展示「大庭れいじ」の世界	3月1日(火)～3月31日(木)	青森市荒川字藤戸119-7 (青森県立図書館2階)	017-739-2575
岩手	日本現代詩歌文学館	あれから5年、そしてこれから……—3.11と詩歌	3月1日(火)～3月31日(木)	北上市本石町2-5-60	0197-65-1728
宮城	仙台文学館	文学に見る震災資料展	2月26日(金)～3月31日(木)	仙台市青葉区北根2-7-1	022-271-3020
福島	いわき市立草野心平記念文学館	東日本大震災後に生まれた文学	3月1日(火)～3月31日(木)	いわき市小川町高萩字下夕道1-39	0246-83-0005
	郡山市こおりやま文学の森資料館	天災地変と文学	3月5日(土)～4月10日(日)	郡山市豊田町3-5	024-991-7610
群馬	水と緑と詩のまち 前橋文学館	詞(ことば)のちから	2月27日(土)～3月21日(月・祝)	前橋市千代田町3-12-10	027-235-8011
	群馬県立土屋文明記念文学館	戦前版教育紙芝居『稲むらの火』 一村人を津波から救った庄屋さん—	3月2日(水)～3月31日(木)	高崎市保渡田町2000	027-373-7721
東京	荒川区立日暮里図書館2階 吉村昭コーナー	ミニ展示「資料からたどる吉村文学と災害 —『三陸海岸大津波』と『関東大震災』	2月19日(金)～2017年1月31日 (日)	荒川区日暮里6-38-4	03-3802-4976 (複合施設準備室) 03-3803-1645 (図書館)
	文京区立森鷗外記念館	パネル展示「森鷗外と明治・大正の災害」	3月1日(火)～5月8日(日)	文京区千駄木1-23-4	03-3824-5511
	林芙美子記念館	林芙美子と災害	2月3日(水)～4月5日(火)	新宿区中井2-20-1	03-5996-9207
	日本近代文学館	震災を書く	3月11日(金)～3月26日(土)	目黒区駒場4-3-55	03-3468-4181
	調布市武者小路実篤記念館	河野通勢が報じた関東大震災 Part2	3月5日(土)～4月17日(日)	調布市若葉町1-8-30	03-3326-0648
神奈川	神奈川近代文学館	企画展・収蔵コレクション展15 「文人学者・富士川英郎展」 コーナー展示「関東大震災と神奈川」	1月30日(土)～3月21日(月・祝)	横浜市中区山手町110	045-622-6666
	鎌倉文学館	関東大震災をこえて～久米正雄～	3月5日(土)～4月17日(日)	鎌倉市長谷1-5-3	0467-23-3911
山梨	山梨県立文学館	樋口一葉の手紙 山梨の知人への水害見舞	1月23日(土)～3月13日(日)	甲府市貢川1-5-35	055-235-8080
長野	軽井沢高原文庫	浅間山と御嶽山の噴火と文学	3月1日(日)～4月18日(月)	北佐久郡軽井沢町塩沢湖202-3	0267-45-1175
富山	隠し文学館 花ざかりの森	『美しい星』と人類救済の試み	2月27日(土)～3月21日(月・祝)	富山市向新庄町2-4-65	076-413-6636
福井	福井県ふるさと文学館	文学に描かれた福井震災～復興へ向けて～	2月26日(金)～3月23日(水)	福井市下馬町51-11(福井県立図書館内)	0776-33-8866
大阪	司馬遼太郎記念館	司馬遼太郎と阪神淡路大震災	1月8日(金)～3月21日(月・祝)	東大阪市下小阪3丁目11-18	06-6726-3860
	田辺聖子文学館	田辺聖子が伝える「危険についての想像力」	3月1日(火)～4月16日(土)	東大阪市菱屋西4-2-26 大阪樟蔭女子大学 図書館内	06-6723-8182
	与謝野晶子記念館	パネル展示「与謝野晶子と大震災」	2月17日(水)～3月14日(月)	堺市堺区宿院町西2丁目1番1号(さかい利品の柱内)	072-260-4386
島根	森鷗外記念館	森鷗外に見る地震・洪水 附 明治二十九年(一八九六)の三陸大海嘯と全国各地の洪水	3月1日(火)～4月3日(日)	鹿足郡津和野町町田イ238	0856-72-3210
岡山	吉備路文学館	時実新子と阪神・淡路大震災	3月1日(火)～3月15日(火)	岡山市北区南方3-5-35	086-223-7411
	勝央美術文学館	震災の中の作家たちII	3月12日(土)～5月8日(日)	勝田郡勝央町勝間田207-4	0868-38-0270
山口	中原中也記念館	文学者が語る関東大震災	3月1日(火)～3月27日(日)	山口市湯田温泉1-11-21	083-932-6430
高知	高知県立文学館	寺田寅彦と地震 4	4月1日(金)～2017年3月31日(金)	高知市丸ノ内1丁目1	088-822-0231
福岡	北九州市立文学館	北九州と3.11	3月11日(金)～3月31日(木)	北九州市小倉北区城内4-1	093-571-1505

展示の詳細、休館日、開館時間、アクセス等につきましては、各館にご確認ください。